みぇけんしゅゎげんごじょうれい し 三重県手話言語条例を知っていますか?

しゅゎ まな ~みんなで手話を学びましょう~

しゅった しゅった しゅった こう者のコミュニケーション手段である「手話」 たいせつ へいせい ねん がつ みえけんしゅわげんごじょうれいを大切にするため、平成29年4月に「三重県手話言語条例」 しこう を施行しました。

たが じんかく こせい そんちょう ろう者と聞こえる人が、お互いに人格と個性を尊重し、 だれ しゅわ した しゅわ ひろ りょう きょうせいしゃかい 誰もが「手話」に親しみ、「手話」が広く利用される共生社会

の実現を図ることをめざします。



いっぱんしゃだんほうじんみえけんちょうかくしょうがいしゃきょうかい 一般社団法人三重県聴覚障害者協会マスコットキャラクター 「できる力モん」

ろう者は、どんな人なの?

この条例では、聴覚障がい者のうち、「手話」を言語として日常生活や社会生活を送っている人を指します(※)。

生まれたときから聞こえず、日本語とは異なる言語である「手語」を第一言語として使っている人はもちろん、難聴者や中途失聴者で、「手話」を学び始め、生活を営んでいる人も含みます。

手話は、どんなものなの?

ろう者がコミュニケーションを図るため、手や指、表情等を用いて豊かに表現する しかくてき 視覚的な「言語」であり、日本語とは異なった独自の文法をもっています。



手話イラスト及び動画/一般社団法人三重県聴覚障害者協会

みえけんしゅわげんごじょうれい がいよう 三重県手話言語条例の概要

1 目的

この案例は、手語が言語であるとの認識に基づき、手語等に関する基本理念を定め、関の責務並びに原民及び事業者の役割を明らかにするとともに、手語に関する施策の基本となる事項を定め、手話に関する施策を総合的かつ計画的に推進することにより、聴覚障がいの有無にかかわらず原民が相互に人格と個性を尊重し要挙にかつ要心して暮らすことのできる共星社会の実現を図るとともに、ろう者がその意欲と能力に応じて活躍することのできる社会の実現に寄与する

■ 基本理念

質的に規定する発生社会の実現は、以下の基本的認識の下に図られる 学話とは

- ①独首の言語体系を着する文化的所達であって、ろう者が知的で活動かな自常生活笈び社会生活を管むために失切に受け継いできたものである
- ②ろう者が情報を戦得し、その意思を装売し、繋び他人との意思疎通を図る学段として必要な言語である

世長にんおよったくわり

【県の責務】

- ・手話を使用しやすい環境の整備の推進等
- ・観光地等において手話を使用しやすい環境の整備
- ・教育活動等を通じた基本理念に対する鴬笢の理解の 促進

【市町・関係機関との連携・協力】

● 基本的施策

- ① 情報の戦得等におけるバリアフリー化等
- ② 手話通説を行う公科の脊髄等
- ③ 手話の普及等

【鴬罠の役割】

(算常)

- ・基本理念を理解するよう努める
- (ろう者・手話通訳者等)
- ・基本理念に対する陰陰の理解の旋進笈び手譜の普及に努める

【事業者の役割】

- ・ろう者に対するサービスの提供時気はろう者の 雇用時、手譜の使用に関して各連的な配慮
 - ④ ろう児等の手譜の学習等
 - ⑤ 革業者への支援
 - ⑥ 手譜に関する調査研究の推進

ヺ゚゚゠゚ゖゟ゙ヹ 三重県子ども・福祉部障がい福祉課

TEL:059-224-2274/FAX:059-228-2085/E-mail:shoho@pref.mie.lg.jp

みえけんしゅわげんごじょうれい ぜんぶん みえけん
三重県手話言語条例の全文は、三重県ホームページに掲載しています。

ホームページでは、条例の概要説的や学すぐ響えられる手話動画もご覧いただけます。

三重県 手話言語条例



